

1. 第1号議案

平成28年度事業報告と収支報告 (資料-1 「28年度活動計画」参照)

(1) 会 員

個人会員数は漸減傾向である。免状更新不可(嗅覚検査等で)、退職や職種変更等が主な退会理由である。29年度より退会は6名。28年度中に3名、29年度に入り1名入会した。新規入会者を増やすため、会員の方々の援助(勧誘・推薦など)が必要である。賛助会員数は29年度に1社入会し7社となった。個人会員を増やす方策として回答解説集・講習会の内容をより充実・改善し当会への魅力を感じてもらふ施策を推進している。

個人会員数の推移(各年度総会時)

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
人数(名)	172	165	158	153	151	149

(2) 総会及び運営に関する会議 理事会・総会を以下の通り開催した。

28年度第1回理事会(28.4.28開催)第2回・3回理事会と総会(28.5.16開催)

(3) 意見交換会は、テーマの選定が適切であることも要因と思われるが、参加者からの評価は高くなってきている。会場費、講演謝金等、経費削減の課題もあるので、協力会社・当会ともにメリットがある方法(テーマなど)を模索しながら開催している。

28年度に実施したテーマなどは以下のとおりである。

第一回 平成28年7月30日(土) 東京日本橋タワー(25名参加)(資料-2)

日常生活でのにおいに係ることを主テーマとした。

「室内環境改善・維持・清浄化等を考慮した建築材料・室内装飾品」松浦氏(株アコム)

「店舗・居住空間における臭い対策例」祐川会長

「居住空間や自動車内などにおける臭い問題」中田氏(株デンソー)

第二回 平成29年2月18日(土) 関東地区(株環境管理センター(11名参加)

関西地区近江オドエアーサービス(株)(12名参加)(資料-3)

「三点比較式臭袋測定法の基礎・復習体験(既有資格者対象)」

(4) 会員への技術支援について、営業支援(業者間の混乱を招かない程度)も含めて行った。3件ほど取り扱った。営業の一環としての講演を引き受けたこと、測定室の立ち上げを支援(継続中)、そして、測定技術に関する情報提供・支援を行ったことである。

(5) においの悩み相談対応について、主として祐川会長が担当・処理した。28年度の対応件数は2件であった。対応状況についてリスト(資料-4)を参照。当会の対外的な信用・責任・アフターケアなど考慮し会長の管理監督のもとで案件処理をしている。案件数の増加や相談コーナーの充実が図れば会全体で対応していく方法に移行予定。

(6) 臭気判定士試験受験対策講習会について、受講者全体での合格率は35%であった。受講者のアンケートで講習内容の評判は良いと判断出来た。東京会場は新コスモス電機(浜松町)の研修室を無償で借用した。参加者も多いので収支の黒字に貢献した。大阪会場は参加者が少ないので赤字。大阪の受講者を増やすことが今後の課題である。

- (7) ホームページの充実について、におい関連諸情報（研究発表会開催情報、関連記事、新技術関連情報等）をホームページに掲載している。会員全員が係われる相談コーナーを開設する予定であったが、セキュリティに関する課題があり、現在研究中。
- (8) 対外支援活動 大同大学で臭気測定、悪臭防止法、統計等臭気判定士試験関連科目の講義をおこなった。
- (9) 28 年度会計報告 「28 年度末収支決算」（資料-5）を参照。
- 寄付 回答解説集の売り上げは前年並み。（資料-6）講習会の参加者数も前年並みであった。研究会からの寄付金は 450,000 円となり、ほぼ予算どおり確保できた。（予算 500,000 円）なお、回答解説集出版、講習会開催ともに当会と臭気判定士試験研究会で共催している。収益事業なので試験研究会で税務処理を済ませた上で収益全額を当会に寄付するという形で運営している。（税務上の義務は遵守）
 - 収支結果 今期の収支は約 16 万円の黒字。前期からの繰越金（約 44 万円）と合算し次期への繰越金は約 60 万円となった。

2. 第 2 号議案

29 年度活動計画と予算

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに行う活動の概要は次の通りである。

- (1) 会員：個人会員の新規入会者を 5 名以上確保することを目標とする。賛助会員は現在 7 社である。新規入会法人を 1 社以上確保する。
- (2) 総会及び運営に関する会議開催について、次の通り予定する。

会議名	開催日時・場所	議 題	出席者
第 1 回理事会	平成 29 年 4 月 25 日 14:00~17:00 日本デオドール	1.平成 28 年度事業・決算報告案 2.平成 29 年度活動・予算計画案 3.その他	理事 監事
第 2 回理事会	平成 29 年 5 月 18 日 13:00~14:00 会議室内海	総会資料の確認	理事 監事
総 会	平成 29 年 5 月 18 日 15:00~16:30 会議室内海	1.平成 28 年度事業・決算報告 2.平成 29 年度活動・予算計画 3.その他 以上の討議・採決	会員
第 3 回理事会	平成 29 年 5 月 18 日 16:30~16:45 会議室内海	.総会報告	理事 監事
理事会	平成 29 年 6 月以降随時	事業実施状況	理事 監事
メール理事会	随時	緊急課題など	理事. 監事

- (3) 意見交換会の開催：当会に相応しいテーマを選定し開催する。開催回数は2回を目標とする。第1回は「においシミュレーター活用の可能性を考える」（仮題）9月2日（土）開催で企画推進中である。第2回のテーマは募集中。
- (4) 会員への技術支援：測定室開設、作業改善等の技術指導、悩み相談対応に関する助言、可能な範囲（業者間の混乱を招かない程度）での技術営業支援・相談に応ずる。
- (5) 悪臭に関する相談コーナー：一般生活者からのにおいの相談にも積極的に対応する。当会の趣旨に鑑み継続していく。当会の全国ネットを活用できる状態が理想である。
- (6) 臭気判定士資格試験受験対策講習会の開催：本年7月以降、試験直前まで東京と大阪でそれぞれ4回ずつ開催する。全科目を一日で行ってしまう形式の講習会ではなく、前年同様、一日で行う科目を2～3科目に絞り充実させる。受講料は前年と同じ12,000円/1回・人で設定する。28年度受講者で不合格であった者は、29年度の受講料等について優遇措置を行う。
- 大阪開催について：28年度は、会場借用料が廉価で交通の便も良い公的施設（天満橋、ドームセンター）で開催したが、参加者が少なかった（1～3名）ので赤字となった。参加者が増えることはあまり期待できないので、無償の会場を探したい。関西地区で会場の無償貸与もしくは紹介等、会員の皆様の援助を賜りたい。
- (7) 情報提供：におい関連の諸情報（研究発表会開催情報、関連記事、新技術関連情報等）を積極的にホームページに掲載する。会員が外部より入手した情報等で、掲載を希望される場合は事務局に申し出てください。
- (8) 支援活動：大同大学で臭気測定、法、統計等臭気判定士試験関連科目の講義をおこなう。29年度も引き続き行う。
- (9) 29年度予算案：「29期予算」（資料-5）。 参照。

3. 第3号議案

役員改選

29年度は、役員改選の年度に当たる。現職役員の方々の意向を確認・了解を得たので全員留任という提案とする。（敬称略）

理事候補（7名）

祐川英基（祐川環境カンファレンス）現会長　吉栄康城（新コスモス電機）現副会長
山口 靖（荏原実業）現常任理事　伊藤英武（当会事務局）現常任理事
久保田はる子（九宝）現理事　石川英一現理事　岩上伸介（日本たばこ産業）現理事

監事候補（2名）

柿本元大（日本テニール）現監事　中後晶久（荏原実業）現監事

4. その他